

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所スマイスセレンサポート田尻			公表日		令和8年3月16日		
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8	0	利用しているお子様がのびのびと過ごせるようスペースを確保している。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		8	0	個別・集団と別れて支援が出来たり、トラブルが起こった際は、職員が寄り添えるよう配置が出来ている。				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	3	机上課題をするスペース、身体を動かすスペース、遊ぶスペース等視覚的に分かりやすい様に工夫をおこなっている。		階段がある等バリアフリーの点で十分ではないので改善・工夫が必要となる。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0	毎日清掃、消毒、換気をおこないお子様が心地よく過ごせるよう努めている。		今後も清潔な環境維持に努めていく。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	2	利用しているお子様が落ち着けるようパーテーション等を設置し個別スペースを設けている。		今後も限られたスペースを有効に活用できるよう職員間で話し合い工夫できるよう努めていく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8	0	職員で定期的に話し合う時間を設け業務改善や品質向上に努めている。		今後も時間を確保しより良い業務・支援が出来る様に努める。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	0	保護者様の移行を共有し、お応えできるよう工夫している。		頂いたご意見を参考に業務改善に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	0	職員の意見や利用しているお子様の状態などを把握する機会を設けている。		定期的に話し合いの場を設け業務改善に努めていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	3			評価結果による行う改善をおこなっていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4	4	法人内の別事業所にて研修をおこなったりオンライン等を含め研修に積極的に参加している。		職員皆が参加できるように日程調整をおこなっていく。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	2	支援プログラムはホームページにて公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7	1	利用時の通っている園とも連携しアセスメントし、保護者様から理解を得た上で支援計画を作成している。		今後もしっかり分析をおこない、支援計画作成に取り組んでいく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	2	職員間で話し合いをおこない、課題を共有し作成している。		今後も職員の意見を共有し様々な視点からアプローチできるよう心がけていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8	0	支援計画作成後には職員間で共有をおこない支援内容を検討している。		今後もお子様一人一人の課題に沿った支援をおこなえるよう取り組んでいきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	4			分かりやすいアセスメントツールを作り、状況を把握していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5	3	ガイドラインに沿って具体的な支援内容を設定することができている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		7	1	各専門分野での視点も参考に出来るよう定期的に会議をおこなっている。		今後も活動の方針を話し合い支援の充実を図っていく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	職員で会議をおこない子ども達が飽きないように様々な活動を組み合わせようとしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	利用しているお子様の状況に応じて、しっかり作成することができている。	保護者ともしっかりと連携を取り、よりよい支援をおこなえるよう努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援前にその日の活動、役割を確認しながら事前打ち合わせをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援後に職員で振り返りをおこない翌日以降の支援に役立っている。	今後も振り返りをおこない支援の充実に努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日記録することが出来ている。皆で意見を出し合い支援の反省・改善をおこなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	モニタリングを定期的におこない、意見を出し合い支援計画の見直しをおこなっている。	モニタリング時期をしっかりと確認し計画的におこなっていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	支援に携わっている職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	通園している園の先生と積極的に連携し支援をおこなう事ができている。また園の先生にも担当者会議に参画してもらいお子様の課題や目標を家庭・園・児童の視点から確認することが出来ている。	引き続き積極的に情報提供などおこなっていく。今後療育センター等とも積極的に連携を取りお子様の様子を共有していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	相談があった際は事業所での対応方法を伝えお子様にあっている支援を一緒に考えること	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	保護者様からの依頼や、園の先生と話し合いをおこない必要があれば小学校との情報交換をおこなっている。	今後も保護者様の移行を大切にしながら小学校との連携をおこなっていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	療育の様子を見学に行き助言や情報交換をおこなう機会を設けている。	様々な機関と連携を図り助言を受けることが出来るよう努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	隣接している園の行事に参加することが出来ている。	今後地域との連携も積極的に図っていききたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳アプリにてその日の様子を細かく伝えることが出来ている。	直接保護者と会話する機会を増やし、家での困りに対してのアプローチ等さらに連携を図っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		職員も研修を受け保護者様と一緒により良い支援等を探していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明をしている。分からない事があればその都度丁寧な説明をおこなうよう心掛けている。	今後内容が変わったりした際は、丁寧にご案内していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	定期的にアセスメントを取り保護者様の意向等を確認している。	今後も支援計画にお子様や保護者様の意向を反映できるよう努めていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	直接計画を説明し同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	LINEや電話にて相談を頂いた際は丁寧に助言をおこない、必要に応じて面談を積極的におこなっている。	今後も保護者様の悩みや相談に真摯に向き合っていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6		アンケートに基づき開催していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	相談があった際はすぐに、園の先生や主任とも連携を取り対応できるようにしている。	今後も保護者様や園との連携を大切にしていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	6		口頭や連絡アプリでの発信となっている為、定期的に分かりやすく発行をしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	十分に気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	普段あまり会えない保護者様には、LINEや電話等を通して伝えるようにしている。お子様と話す時は表情等確認しながら視覚的カード等を用いて話している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		今後開催する時は招待していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアルを策定し職員間で共有し訓練をおこなう事ができている。保護者様への周知はおこなっていない。	保護者様への周知をおこなっていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時にあらかじめ記入をしてもらっている。またてんかんに関する研修など積極的に参加している。	変更等がないか、定期的に保護者様へ確認をおこなっていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	利用開始前にアレルギーについての確認をおこない職員間で共有し配慮している。	アレルギーの状況を定期的に確認していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	訓練・訓練共におこなう事ができている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	連携が図れるようになってきている。	しっかりと周知をおこなっていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	職員間で共有し、再発防止に向けての話し合いをおこなっている。	今後も職員間で意見を出し合い安心して通える施設運営に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修計画を立て、参加することが出来ている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現時点で身体拘束が必要な児童の利用はない。	今後必要性が生じた場合は個別支援に記載し保護者様へ丁寧に説明をおこなっていく。	